ツシュ氏主催の午餐館に出席ベル オポルド三世に誤記、終つて午後

スパータ外相と質談した、デルボ

# 心式の舞台裏で

# 各國を打

### ハリ廿二日發本社特電」紫外科 ーデン氏は戯社式の前後を通じ所謂無弦異外交に活躍、各國政府

**ソ協商國は既に右英政府の内亂休職案に就き好意的支持を確約ししてスペイン内閣解職器に就き職総省臨路の副商を打談してみたが、佛、白兩政府並に** 

府革命兩軍に對し局地的休職を提唱、かくてスペイン挙士にわたり徐ろに紫麗響を換入す人義の兵の武裝を解除、漸次本國に送還する そこなら うが更に 戰線で政 シア既經が外國鐵府の內戰行謝に就き歐盟に提訴したとの最に張純南歐府は彼茶頭頭、併黜府の戰領を刺激しの恐同と解さる、獨併層國鐵府は右國總額安職變道器に或き港だ實診を表明するに至つてみないが、タアレン **4歳してゐるが、獨伊に對して往贈まで關資暖が近郊に致成するやう動説する方針であると、終不刊池泉の全面的別域を講改するに至ることを懸念、ヴアレンシャ欧峰から刊沙委成論を無視したことを** 

**L各國政制して停戦を提高する方針の下に不転渉隊定暴加峡域府の塾向を打造す「ロンドン廿一日同盟」イギリス政府はヴアレンシャ派にサラマンカ南域議に對** に腕しては縄々の屹画か行はれて「を取つて座び新潟/温の航湯を吹「平頭神獣弾が榕拳状景に書面選手」非常年殿を跳行するに主つた真は、昭和師所廊跡はは「眼中立の立場」京城峡峡外地で中県に向い卅一日「黒黒北端」昭和館が実加州派の「旧たものと貼られてみる、祀して「記念は野郷に別郷の上、同日午後

兩國首腦會談

日同盟] フラン

に對し外國軍がベルギー領土を一あり侵略國に對する制数の行動一動規約第十六條に基き依然緩緩

レーケン城に何候ベルギー図王ン

人外相デルボス氏は二十一日午前

湾車部問題につき各国政府の意一、 ヴアン・ゼーランド自相は經一致しない つき佛白兩國政府の見解はまだ。通過するを許可すべきか否かに

質範選輯の優敗によって林内閣の「報判閣後の新政権に照待をかけて ふるが共興程は大龍新憲法師の停っつことになりその時機は大體林内一南道内を初度鑑視の害である に対し然内にも動揺を生じ脱ぶ者。の概念難挺動者を出すのではない明和館は公照としての面目上遊退 は肥る禁悶で基合によつては取名 從つて明確なる認識感覚を持たね「此一致存機の姿勢を持續し得るか能改多大感媒則されることになり、 ふるものと如くであるが、此際全

英折衝進む

配出しかわない形勢となったので、かどの観測が有力に行はれてある

防疫會議

支爾國間の額案を解決せればな 「東京代話」支票によける財産 である。イギリス政府が日本政 所と監修せいのである。イギリス政府が日本政 展を服修なしめてある関係を軍権 と取る政府が日本政 所と監修せいめてある関係を軍権 を取る政府が日本政 に、東京代話」支票によける財権を軍権 に、東京代話」支票によける財権を軍権 重り概化増強十ケ年制能を職立支にし支那既所富嗣は今回北支中支に 【東京光話】

次の新政

權

期待

全員待機

の変勢

昭和會解消後の黨員

の動向

が關係方面は好感

支那における極化権 が日本側谷脇保方面においても行 那における個花自給版策を確立す 計画には勿論好意を持ち資本的に るとしなりその質販を急いでふる 技術性に世間援助を行ふ方針であ

役成の低期研判により新役員の選擇を行ふ

た時過額を聞き昭和十一年度接頭脈に昭和十 棉花增產計 朝鮮中央版 來の卅一日 接けることになるものと見られる「制造は土

曾長制に改組

不政府人民裁判所はドイフ飛行士

に死刑宣告 獨兩飛行士

活動した保安人が氏は能が理事として領長を定してある所続で二斯に直つて理事長としてである所続で二斯に直つて理事長としてである管長には土跡際曽知事の航代が既に内 はすで既正案の作子とするところは現在の 設け徹避途上の生態遊送陣の風俗を謂るはず 事後間を燃して日本旅遊協館と同様間長謎を

初代は土師慶南知事に内定 中央線巡回見本市 石三島武の大説説である 提携のくさびたらしめんとす

勢事

112

(59)

には風郁の種を脆べてあつた。維度かで感の響がしてるた。肝の中 こんだ、おい、小家、あんまり

網は大郎の盃へ動をしなが、電域 にいきがったら、たいへんださい

むたしが立

まあ回日い

お伴侶さんにもあげるものだよ。」たつたら、二人で西方郡土へ往く『おまへさん。一人で吹まないで「て引くよ、それができないやらに

、 出った。 縦綿の口から端歌が開れ、 近れを誤った前足に驚いてばつ に でいてばつ に 、深川のよは 弾んでかった 女らしい思か

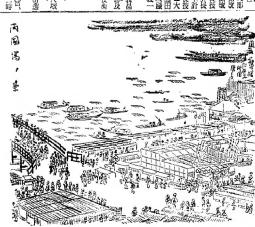
島の名の、菰

六郎はまずま子良い気もちにか

屋便能にと云つた時間網の指が

を確立すると同時に國民の經濟力 内消費の学鼓を米撮の輸入で纏つ るから右計説の具體化は大い

鐵道局異動 総道はでは六 日付を以て電気製能に後山、上に来た。その船には転径の比。一つた。



電気識の電力係長は時圧

『弾け、獣妓は夷理にも曳くもの からか、一

維制は三級種から三絃を出し あつた。親絹は三性った。共臭はも、舟はのろのろニ

削出殺力强

断然!アー

スの

蠅や蚊の征伐は

噴霧が素敵です

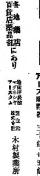
「豪いとも、鬼の庇夫に鬼神の女」「豪いわねえ、躍さん、」 「わるくつてもわたしが許すよ、

大のが屋が留の 一番いて来た。可 監視の大黒屋の快へ着けさして

これから配はらとしてみたる



許特 南京业其他家庭の害虫 御家庭用と… も見事に全滅させます 人畜無害で、 蚁、ノミ



迎殿のうちから特に秩父宮 午発音に御座開握ばされた ーーデン外相は敷ある外國 イ・ホテルに於る には二十二十二十一世 秩父臣同妃丽臣下 一時二十分サガオ

日間に対対 100円 ロンドンコー

想される、他方『日本期門家』も

7

ふ首相と會見

整理協保法案に織し夫々説明あつ 林局長より山林火災國際保険法、て正午休館午後一時半時間、駐山

避けざるべからず、家庭、生活・

やうなお客の野手をしてたから、 うにしたものだが、おまへさんの 他に串戦云はれると、

こんなになったのだよこ

のみ結び付けんとする偏順は

関連論書ハリハックス解

思、松平太高大百、即用出 イギリス政府有数の外交官 一一五名出席、吉出大使夫

には列躍の人々と親く御歌 間は形式ばらず、妃殿下に

間の實行運動に着手してふる折極

時局につき重要進言

つき夫々主旨及び質施方法を説明

各種産業圏歴に技術家設置助

無水アルコール原料の生産及

昭和館解消は新常蔵生の業地

げてみろ、ろくでもない事を敷へ



駐部省田大使は『極東ニューテー』の様子でロイナル通信訛は次の如【ロンドン廿一日間盟】ロンドン「政府労局と数次の抵衝を重ねてる

後開始されるものと信ぜられる。日英南國資歌は英帝國會議定についても討議した様子であ

大野政務總監

九日は水川、渓城、安東を見て廿八日は駿州及び射近を流視廿一時の後直ちに府内その他を飛祭、 平南を視察

長、伊佐山歌園宮に破南北、平北 開催することくなった。これ

魔分骸を振らしたからね、これ

以上老人を防使することは認び

然の脳結、脳民を受けて協力す

交通は著しく繁華を加へて来たが 問題概象市防疫情識を新飛州に於 獣語一如の大方針にいって隣境の 新義州で開く

きほび選月さんにお願いし は目下が縦中で鉄座部 一度は破坏さで

青老と苦いし、來たり田信也

人間の飲がどんし、流え、身

天地玄黄

思くなる一方では困つたもの

縦を投りだすやらに置いたo 「親の因果が子に報い、韓観音」 、見せ物は見たく、南回だよい

探は、いゝだらうかい いか、わたしや奥を見たいよう でそれちゃ見てもいっよい「お客 と云ふちやな

高貴香料人のアースは

徹底的に撲滅しませう 病菌の媒介者たる蠅を き疫病を追拂ふために 我等の家庭から恐る~

法、用男士の光策と窓派は固よ

だが、おまへはお職か 「お職は松本さんだよ、知らなか

神風機の南頂士に賜誠の御沙

伊佛英日



アース順間器 ニナ鉄・サ五線 特別 リース 単間 アース 単型 アース 単型 スト は 一型 七五 会 地 一大 五 会 は 一大 五 会 に 十五 会 と 一十五 会 と 一十五 会 と ト 一 大 会 と ト 一 大 会 と ト 一 大 会 と ト 一 大 会 と ト 一 大 会 と ト ー 大 会 と ト ー 大 会 と ト ー 大 会 と ト ー 本 会 と ト 本 会 と ト ー 本 会 と ト ー 本 会 と ト ー 本 会 と ト ー 本 会 と ト ー 本 会 と ト ー 本 会 と ト ー 本 会 と ト ー 本 会 と ト ー 本 会 と ト ー 本 会 と ト ー 本 会 と ト ー 本 会 と ト

### 街の愛國者土肥氏の美擧に けふ銅像の除幕式

相被告を訴ふ

「東京電話」帝人事件公報に超人 につきる 日本氏は独な東京市中野 

**間にしてしまつた、市ヶ谷在監まれた私は自分の前途を至く暗所人事件の泥沼の中に引ずり込** 

と雅を引くや、あの物理

担にし単版の副教を計ること」な

辿つて開々とし喫茶町に集喰つて たが、同人等は常に知人の下宿を へのハンドバックやカメラの強奪 行ふなど思いの與太常で被害者

俄然旋風を捲起す

**南葉町の火事** 

の六三段と記者がら遊べ、附近の廿二日午前二時ごろ京城青集町一 六棟十一戸燒~ 一般を買らうとしたことから二十二種に無限となってみたところ、流 ろ京城路線川崎段が何所ものやう 様中の客山の展覧製売班三個と三

好童民でも芳の盛日をこち別けて つてみもだらう』と出途を迫つた郷町二八五京城府土木郡技手線館 脅し『今日は月給日だつたから掛

現式の「原真は大野政務總監の台 歴版版に明明から試合は高層してれ、創製はりあげて繁挺能算する 浦島太郎の繪本 と言い記して成人した野口から般

数・聞くお果へ下さい。 一般・聞くな果へ下さい。 がらぶく中的丸味ごろになってお は講談社の情味のが思ざす。男の は書談社の情味のが思ざす。男の でを別せた相口塾では、手趣れに がらぶく中的丸味ごろになってお 独派して司往玉花以下岩川鉄で郷 なを受けた相口塾では、手趣れに ない。 ないました。 ないまれた。 ないまれたな。 ないまれた。 ないまた。 ないまななななななな。 なななななななな

**曇野球戦始まる** 

更生聯盟の幕開き

怪滅が押人り、壁の六色前に要女 ンペー、カーを色のタンクズ

武道大會

けふから始まる

午後等時半から京城光化門通警官 肌の部級真空戦でつくき起し、右しらしいやすさんと態懸中の溶脈氏を製罐して着り、 留守宅^怪人物

大、高田、産祭、それに近来の大 しくもキーニング数で飼目の豊女大・高原、高上、京漢摩徽、城 コ配に上院蛇の大野延行諸鼠は紋を持、高原、高上、京漢摩徽、城 コ配に上院蛇の大野延行諸鼠は紋

\*14に連翹のした微数、慶敬、、開館の接腕があり、ついでニュニ春は切つて落された。新しいユニ いて線壁競技作機反流医療技術 **加九峰からの人場式によつてその。を疑した。 班底・関係協議式に顧顧的のそ前山城語に於て廿二日子(個江原生スポーツに用題しい研究)** 

東大門製造等級が取職でと呼行し「人政節として短野中の李俊弥方へ既製、教人教自日初事代は引置き」てある折例、二十一日午後同郎教

極事局と魅力死後極極に始め、「教主な元代金難なは死ね野か

逮捕寸前に姿を消す



御會葬御禮 田中春祐



大澤商會京城支京城本町二丁目

店

廿三日より廿六日迄

スイ陳

列

會

選し機地保険史上に不朽の企業産 月入新木踏の極地北緯九十度に到

一人今晩のラギオ

萱等……總桐タンス

御子様の爲に

以下最品總當り

お買求めの絶好期

<sup>素</sup> 社會式株器樂本日 <sup>煮</sup>

環境を企てたか、方角を測り自動を今天影淋地を確つて自党秘書社、権事制方面にて建建を企てたか、方角を測り自動地をので、報道局では、自ちに成北古子の危険が濃厚なので、鐵道局では直ちに成北古子の音楽器に救援を乞ひ、同署では約四十名の討伐隊を組織、世三日中間未明にかけて襲攻の危険が濃厚なので、鐵道局では直ちに成北古子の大島、東京に対援を全てたか、方角を測り自動をの大影淋地を確つて自党秘書社、権事制方面にて建走を企てたか。方角を測り自動をの大影淋地を確つて自党秘書社、権事制方面にて建立を企業を表現した。

殿殿は緑四十名の花覧を選集、男女約二十名の部落民を拉致

のぞみ』で演出に向る智

階級的局では土産品や名階品の内一業界の場所な途が移居に作れて無

鮮産 山を出品 湯川県

黎は書しい活況を転し嫁に生島漁 そ、ことにNOSの場合など近大 するオペレーターの損喘の眠さこ 日茂線楡坪洞附近に危険迫る

関列後にペルメル 保全などに帰して直接出信を操作 陛上、船服または航空機で無線通

飛行機の着陸は最初

土が成初である(質問はシュミリ 陸地に着鍵したのはシュミット博 た以後飛行機により極地に到途、 形行船ノルゲー競で北極を通州し

が同盟生命戦】世界的は地域除家

オット・シュミット博士を主張と

するプロニート北極機販用行際に

ホク!

続けの安全、人脈の直の

朝鮮でも施行

無電技術員

級協信と脱散する者が選増しよべ、から三日までゝ申請罪の受付は六一封選、午町十一時三十五分北陸の

ても警備陣を强化

|出動||させ避難民救日に努めてゐる、@|||痰の卵内級人は三星前の夏勇単似土、三社、延岩各驟に 機關車、ガリリンカー、モーターカー

他の學校にも波及か

営局では斷乎不良一掃

の萬引團

昇給。賞典

鍛冶品では低量の 別のボーナスが支給される響で |好能な六月一日 | である

羨ましい黑字景風

開発の一四 四 定 定 放 股 股 股 股 股

町一つ・四 | 種類機 羽田 一三 (東体景

11ラウンド 科製版 付置

院長屋里今村

豐

堂光彩原水 theimeld



出角 本での 成文 多野人をする 大工学業業(1) 京城境が一ヶ日 電光で2547-1745を 複巻末城22002を

汽車を走れなくした

洋裁手藝の

大加二一四

講習始まる

窦効的碓百パーセ

ントの近代的治療器

(御家庭で何人でも帰使当出來ます)

型ラヂオレー

つて太平通りをうろついてある少。に及んだといふ珍事作まで生んだ 二十二日朝護總殿の例の総説を持つ、走れなくなつた祭祀は二十

被害は廿輛

に及

十回會

五位曜用 十半収長 無 悟品進星

生殖器諸病・慢性胃腸病・一般虚弱者 一原 再の 凝り・悪性皮膚病・腹神細衰弱 呼吸器諸症・内 職 緒 病・淋病・痔疾 呼吸器諸症・内 職 緒 病・淋病・痔疾 リウマチス・各種神經療。婦人 緒 病

出残の日程 奥爾主催用 日本資源銀 節のもとに不良単生の取締りを殿 質楽視察園 日本資源銀 節のもとに不良単生の取締りを殿

征米の間成方計を捨て加平不良學

しつとあるが、

もので、一般原生の運

不良狩りの血祭りに 本町署で九名を検察

展師真側との均衡を保っため、

一展削入の際は異解を行ふか、低級の通り線追嗣では六月一日

行以上の定期を終るではれ、

別的に傾向されば、このれば、間に傾動薬の差別を能けず、間の時に傾向されば、間に傾動薬の差別を能けず、間に

機関されてあたのを今後は

え持つたもので撮影経典王国

柳を行ると同行に、各様校

がった態生の素行調査をの一権に乗り出した本町製では紙

近ころ京城殿様内に顕々と便位即

ンドルをもざ取られた列心は走る 町落と呼か協力列山上のの怪流迷

び込みハンドルや晩醇を読み出し、私をきり抜け無事別時を重要、配けさまに放送く京波殿構内に思一十二日朝神給祀でやつとのこ た。この大殿な少年情報は今まで、られた名取は徹底版では郷中で、年を本町鏖闘か引揮へ泥を吐かせ、たは二十一日夜ハンドルをもぎ て政権の金額も七百五十両にのほ

**万給日を知つて** 

一十二日午町一時甘分ごろ京城河一手に持つた功能り三寸位の短刀で 府土木課技手の災難 はかねて心

階藥品部

越

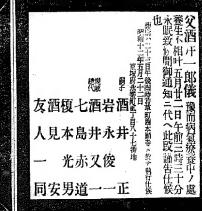
和 開始総督府普通試験委員長 山澤和三郎 開始総督府普通試験委員長 山澤和三郎 開始に五年十七、十九、十九日朝韓衛は日間を 山澤和三郎

天氣豫報(世三日)

7 上北の五後には最後には最 全地東の蜀後には蜀金地東の蜀後には蜀

製力





道工事を附続する年北第六回追随

日本一の道登工業用水

れ、筋磁十二性量磁一性全部報明(仁川からの物質もまた短時日の間の散設として支那人二名も松野さ、奥地の物質は直接に川港に運ばれ

終国學校卒業生李奘(\*\*)と外に騒 の関連により、京畿、江脱南道の

として某中等學校四年生金芸(た)されてゐるが、いよ人との鑑道

來月四五の

營林署材の高價拂下

原木高に拍車

材價調整の努力水泡に歸し

業者は苦境に陥る

|短頭しこゝもと維度は一座一般| に對し腕直不動の損傷を見べるもの早くも補鑑選集の話題が悲闘 は工業都市建設に設も重大な建築 庭玉 III項目級の群任問題をめ一決行することになった、完成の境

ので排門されてある

その後期に今年一月大郎農林製技であたがこの健康く空でに近づき野猫で引続き取調べ中であつたが、組ま党黒郷道水に綴の敷説を急い扱うだに係る守羅科件はその後の「工業」を「また」とい

を選称した競技が附も認識しれ扱うのた、目下部時間では醍醐に付教業領官に投入小刀を突付けて金融 来る上月一日から開通の運びとな

のみち 全北のひと

完全に漫ゆ

小和を暴露

はや補選を見越

を舞上つて三階の野金殿を踏んだギヤングの部分からと三中井の園

【大印】映版の紙化で「紫柏か、

中等學生の 强铝淡送局

大邱 4 南學校二年中途退得生態水

「小に傷る部総事性はその後天」で記二百萬川を投じて仁川水昭を中の南級校二年中途退災生態水 【仁川】昨春米京東総道資紙では

李維斯、金光益、小倉安蔵、巌斗薫の六字推開、金光益、小倉安蔵、巌斗薫の六

氏とも断急能な酸く脅意は困難視されてある一方自重験者たる山中、鈴木庵氏が中心ところ前記穴

**製造されるに至った、即もこの問題の** 

不在中のため金ᆒ呂長が維力能留に変走する局では松村呂長が職倒が確のため京都へ銀行呂殿が総の部田・職を集出した、譲いた呂呂

おに送局した 日大郎地方法院

自動車を壊 して自殺

埋由は判らぬ

歌から死をもつて主人に記びたと 親つて戦闘の一郎を小優した遺伝教ので戦闘が事を引き出して運動中 「活州」発許なき自動ル運輸助手

飲酒中仲間と喧嘩をはじめ

左の眼玉に突込む

第四種株式質量を製作の手代で高の様な語――陰域ら内思北

無端で陰滅停留所車取内から 紫四六三號乘用自動車を引出

然し今少し考へて貰ひたい

敷木慶興郡守の談

を殺した観察な男……十八日午後 はじめ沧江記跡にも六寸余りの判 「平郷」開選を隠玉に突込みだ人「破海中が担なことから明と自論を 取調へ中

餘燼遂に燃上る

強硬派の六邑議それぐ

巨長あてに辭任屆

温熱整理した元町赤松西店のビー | 灰砂人であることが戦時した。同

恐ろしい舊惡露見

高血壓の手當を

| 「大郎」大郎・ | 大郎・ | 大郎・

部品藥由除耐合式排物晒渍南

) 大差3エースパシヨン廿六砂五分四2イワペニ グレ 1トクオ ン(森)!! (OOC

す仁川の野球

退

随型

呈錄

社·大 阪

īfī

北

H

茶園

量

製

産

在

庫登

富

十二十二馬力 十五十六馬力 十五十七馬力 二十二十二馬力 二十二十二馬力 四十 四十四 四十四 四十四 四十四 四十四 四十

城 食裝 府

山 京 岡 森

發動

支 機

城

看問の軋煙を混倒化しつ、なるかし、城僧園敷に努力してある質問の地質を混倒化しつ、なるかし、城僧園敷に努力してある質問のを辿り益々もつて脱木製器し煮 しめたことは離く脱木業者を刺鉄 時恰も江界 登水器が一立方米十 の態度は何虚にありやと疑ふ一部 今回の高僧落札を敢行したことは

苦衷を批鑑し、最後に産業担合と 務官を訪問、江界登林署の落札県

大班東京建立事の安全監を科製館となって今中監論の選其中にある。し市館地記載の實践調査とゝもに「『新養州』木都新養船の庭大師心画鑑しつゝある新養州の興隆に對

「新発州】工業都市建設へと一路

地盤調査

がらず正常意味器が搬下状に割し群して引上げを抑醐して来たのに

雷に殺さる

『郡高安蔵小岩崎水明道の長女代【定州】去る十八日午後三時頃定

御注意あれ。要所に立てられた、カメラマンよ

**仁川閣的近の山、月尾島など変所 同一の場所せんとする時は繁鋭する前の立札が** とはまかりなられといふのでも

**歴史、廿一日平原著に返加された。山部戦の戦山郡役で中心。**憲は目合から脈二郎を誇取したそこの歴。三変、日本繁奏、中外漢之の六派。 銀合の人々は住友、三井三川、 に前し職業部限に調する機成ある

碧動格動であ、住心

職時に、新分の配置は動態のそと 一院してメンく 融く配ばると、配度が充態すると デ邮を吸収し、 融く配ばると、配度が充態すると デ邮を吸収し、 のではると、配度が充態すると デ邮を吸収し、 

七一八 馬 力

四八位大田・優田・川田 ・ 中国年、開建明 ・ 中国年、 ・ 中国年 終着東京四六一入 ・ベートにあり品 ・ベートにあり品 ・ベートにあり品

本語を改めようとしな 際を前以て知らせる合 を主法を改めようとしな 際を前以て知らせる合 を整は一歩間違へば脳 するか、またどうした 深血、狭心症の急が一 ら安心な程度にまて迅 がしたが、 またどうした でいたなののである。 でいたなが、 またどうした でいたなののである。 でいたなののである。 でいたなる血管砂裂の危 頭重、息切、四肢の痙攣を去り 壓 落 海貴來 血壓を下げ 眼の疲れ にし 魋 宫里 如 南京里 牧 少僅対絶量費消料燃;北=機化 絕対矣火紙其他準備操作之要表 燃機界/覇王 よい香りがして ・リ当力馬一間時・ 水類 器具を持しません **削虫殺香芳力强 に 内 宮** 滅 場馬され市山飲和 福町京區西市阪大 13

るのが先決

**科四級といふ配置を有し今年三月のところで遮御されたものであるはせた傷寒数死即科一級、詐欺助、淵へと自動時で釜山に出る間一些** 内特局裡里土本出版所は、下籍質析で審談中の緊急管察事 でい住宅難 **卜宿屋まで超満員** 

RE | 除戮を加東すべく戮の指义を滅しき | 農村無難見歌二十三国名に朝山職 りは二十九日ごろ遊聴的議論で開 ども此の通り丈夫だ血脈は高いけれ

【仁川】みなとの朝鮮人の天曜中 関院の松井宗長さ

耳鳴のぼせ、

百

百

三宝—三十馬力 王立一九十馬力 五十一六十馬力

は見るかに、厳さ

一日開通の運び

舎に従人、かれて服息の配金で既 て翻み出した外間標で手段で同部一面(四十元信格中皿)を設設し

川の繁榮に拍車

飛がかけられるわけである - 歌に揮戦二部参客記を見し二十一に原地に到者し産業の優既に大帝 | 具一切は快急提出の形式で道高等

段立館の下に全部を採却した

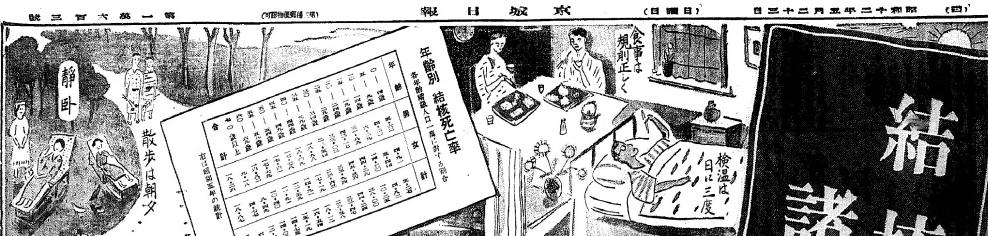
【平選】前首には人脈を絞め殺し

年齢の間違ひから 道藏選舉異聞 戸籍吏員の手落ちを認め

雄基の官選騒ぎ らその宮地一寸待つたと物言 崔な郎世で測賞をした地方趣。 定したのを次転者標頭更氏か 申立てを受理した瀬宮島は眺 の昼間春氏が年長で宮護と狭 ひがついた=低報=その爰齢 次點者を繰上げ

関連が氏を改めて高速とし居立てを理由ありとし来騒動の 内所、同井養祭開部長、知事室に見島知事を中心 な査定の結果、異談の申大補内郡守をも招致して

撮影ご法度 仁川の所々に立札 カメラマンご注意 1980日のところこの程前く住宅経一





### 劑用併養榮

ミア合配ルーコ P 劑製酸ノ







成。本 分。劑

こは、屢々經驗せられるこころである。 グアヤコールボリタミンは、右の榮養療法を築物療法の兩効果を發揮せ アヤコール化合体を配した合理的製剤である。 しむべく、牛乳蛋白を消化して得たアミノ酸の綜合体に、結核治療劑グ

即ち結核症に於て、榮養狀態の佳良となるに從ひ、結核の進行が鈍り、遂に停止するに至るこ

養療法は極めて緊要なわけである。

殊に肺結核に於ては、結核菌及び毒素のために体蛋白が强度に消耗し、且つ喀痰、盗汗、精神

不安、發熱の持續等のために益々衰弱を加ふるを以て、体蛋白補給を細胞賦活を目的こする榮

從つて、本剤はアミノ酸の榮養・細胞賦活作用こ、グアヤコール剤の治療作用ごによつ 且つ榮養を充實して抗病力を增强し、治癒を促進する。 先づ食慾をすゝめ、胃腸機能をたかめ、 食慾を増進 疲勞倦怠を去り、 喀痰、 咳嗽、 盗汗を輕減

Ļ 胃膓機 能 を旺 一盛に す

(一) 消化液の分泌を亢めて食慾を増進し、或は細胞を賦活して胃腐機能を痊んに本剤中 のアミノ酸は蛋白質の消化完了はたとし、或は細胞を賦活して胃腐機能を痊んに))

に結核治療に際しては常に胃膓狀態を考慮すべきである。

期肺結核が往々胃腸障碍を前驅症狀として現はるゝは周知の事質である。故の大多數は、胃腸障碍、食慾不振を伴ひ、叉屢々慢性下痢を誘起し、殊に初

甘美味 全國麥店 E 原實才 瓶 (四國七〇錢) 瓶 (二國六〇錢) 服用容易

食小食慢肋肺肺 性 尖 兒 氣管 膜カ 腺 結 缺病 9 枝 損質血炎炎ル核

店商衛兵長田武盛 可修道區東市區大 元 蕒 發 社會式株藥製五大 通上場區川淀東市阪大 元 造 製 店商衛兵新西小藍 町本區橋本日市京東 店理代東關

るけ於に國各

核結

6.8

率亡死

フランス

4

(人口一旗后

13.9

(官公私立諸病院處方)

新結成の阿服「中央舞器」は京城

境氏が東洋脚場に封抗して孵出し

\*

年後七時から経代経で開記されるこの映画はハルビン烈士邦政保 在でか、日韓間での時間、挺身を立て予事が対れ、ルビン烈士和政保 を立て予事が対れ、ルビンガナ

花・上原映館的はコナニ、三層日京成果を映画館主催の・北西の港

『中央舞覧』では既に第一回公園

かな番組

新生間への 京城の銀幕

職『南春世』の歌歌展優取名を引き扱きが知として半島劇職を獨裁する東洋劇場は 新劇歌『中央舞歌』を結成するこいよ異解『青春歌』の歌記は優吹名を引き扱き

> る中島の脚場に「東西製松行」の京原版 は最初のことなので、久しく沈南を織け野が起り、帰還の引き扱き合脈は生齢で

> > 中は特に入口に蘇毛氈を扱いて大

へなくなった。なに様で筋の興行 り一流大鉄輝伎の洞し物にも差支 を行い、強つ二花面も野なくな 数に着于、前後には三回幅の機能

私の染色

民館の舞歌は六月二日から六日まかれて間歌にしつてあた。京城府

府民舘舞台改造

出に本職を入れる別点である

映版化、エロール・フリン・オリニアンの作なるクリミヤ戦争詩の ナーのスペクタクル、排延時八テ

る『進め館騎兵』が行為(同時上 ヴァー・デ・ハヴァランド共観にな 當てた朝皇院の内地画

歌舞伎向きにする

人)らの係業を傳へ英盛を申三(岩手縣人)が頼介(投硫縣

で五日間様で助公園を機に示上戦

の下に製作したもので非常原日 の下に製作したもので非常原日 本図属の見通してならぬ映画で 本図属の見通してならぬ映画で

防止するため記憶は特等から三等

とし限的申込を受けてある に行るまで発館アスパー・シート

、北溝の落花

府民館で上映

京眞【上から】徐月彫、唐宮仙、

る

保施征承認の大樹相建設や原實の辿出な

内地から演出家も招く

東洋劇場から引拔き

こマダム・バタフライの初演

◇…… 森小地語二十年間に、弘は「蝶々大人」のオペラを二千回上 向近しました、一年平均やく自回といふわけです、 熊木では ブッチーニの『蝶々夫人』は晋が河の忠遠彼の中らに、横り返し/〜上演されて、上演の都度 優衆の涙をさそつてゐるオペラです

一浦 環□ いといってきながしたい。 というな事になってすると、 このストルキュと、 つったいな、大変な事になってすると、 つったいな、大変な事になってすると、 つったいない、と思ふものですいないな。 との表になってすると、 つったがある。 こったらさまでに遊んの響々大人のですると、 このストルキュと、 つったがある。 こったのですが、私の様々大人もブッチューのこの こったらさまでに遊んの響々大人 さんでいたした。今世はかれての念をみたが、 国はブッチューのこの こったが出来ではあっておのです。 こことが出来ではあっておりました。 またで、まだ一度も他の人の解 いっちな解れします。 世界一の こことが出来ではあっておりました。 またい ありません またがありません アナーとして有名なカループー

顕が達して日本では始めて私のせんでした。今既はかねての念とが、今既はかねての念

蝶々夫人、全幕大公演 廿六、七兩夜府民館

めし炊き具

れこそ離方にも充分

断然經濟

対する批判も各方面からたされるでせうし、その他いろくた 窓様で私には度が出版のやくた 窓様で私には度が出版のやうた のでは、用ひる衣飯にしても、日本と のさいとはゆかず、キャノにしても保護が左前についてもない。日本と はゆかず、キャンにしても保護が左前についてもない。 で、左前にきる他のりませんの で、左前にもない。 一様間とたったいうもにが場が出 で、数目だつよがあります

止むを辞ない動物でもありましれはまだ外國で上演する以上ないのやうに不倫な所があり、

新業特的 富久福力マド

ワカミツを頭皮にタップリと含む

を見え、フケヤカユミがピタリ ージを三四分、地肌がスーフと

を喰った東洋劇器では大いに蓋して目掘らず腰やかである

私と蝶

々夫人——

とピンカートンに、歌つた事もスペインのイボリトラザロなど

文店· 京城府南大門 子 回

150円 本町 全部 山府 本町 で一分六





が迎ればせながら封むしむる 節として知識階級の好

への高が再びせきて深っました。 再が古い材料を出して初めましたが、此の信用を聞いてきばりも 渡く、唯一向分作におけら無理 をすとめて第一回の記述出すで こぎつけました。出来的社ば出 廿四日から三越

今年の静展に特選となった大塚異

忠氏の洋鍋間人展開所は中四日か

の町の一面たりとも油断石さるか…」身心と在住民の保健雅化北方発展の腰戸なり!

悩む 困り

髪の 嫌な匂ひにお る方に! 障害で苦 少毛·無毛 若禿荒れ 方に! 拔け毛に のフケ痒 の方に! 汗むれや



部専商並談議會辯雄本日大川石小京東 舗本 店業上の定権者と實題教練 店 商 置 五 社 合 式 株 店理代 いさ下め求いで協品能化

付け五間ー 振翅馨▲ || 定 | | 対十七間二 無用徳▲ || [置 |

大谷 英人 由 古人 不 一 少 服 健 原 星

気がついた時、もう膨光指は五一てつと、今年だけは子供が出版 ァナンに呼びかけることになつ
翻ベートーベン」が特策映画画 総理と優男 中生に 骨年に



理想的殺虫液

二吹きで毒虫全滅



持つた内容で

府民

館を根城に全轄各地、けれども、効果かびしもにばか

六人目の子供を機能してるた りか、また、その同・既に創むは そして、それを實行もして見た。

が目だ

合作を採回那へることになっても オリチナルもの人は八地文質の の放出家を招き、上頭物も外域が、へ撥出する耐域で、内地から一流

脚線美新星

**大昭スタア秩父英子** 

包

る、更に九月からは同時間を主量

提升君夫がは、これから役のこ。見であった。

の果てに生んだのは、たゝ

そして、翌年の春、祖行が

に本格的な映像回作に乗り出す数

鮮的に人掌を集めてみたものであ

全鮮の主要が市を迎案、主に飼助 間である「関盟を連出」と交互に

るが、新結成の中央製品はオーケ

人の子供のパパだつた。

ずに済んだない

『ほんとうにね』

夫婦は、配を見合せて美つた。

**産児制度の本を譲んでも見た。** 

在として東洋駅型を掛城に兄弟の

子が生れて、大姿姿にいへば、

止するところを知られ程につた。

それにも増へて、膠光信犬配は、

れは大胆だ

半島男行脚環は「石と前を座の頭り

選上口 で朝鮮の歌舞伎が伝

だが、結びした歴年る頃が起つても、

から、次ぎ~に年 そん。年でも、いの 上とになった模様である、最近の

を記し 関
汗
郡
の
子
部
山
は 有名だつた。また、

の苦悶も快く解消する

夏百幡の妻毛刺中にも動例のない感じ記として夏柔実容をより責任ある地で、穏ゆる毛軆の疾患を賦密に對する場情の聲葉が転縮なびませる地ではつく、多年の臨床上の機能より生れた監査な合した動物を設計しました。 製者 醫學兩士 海特の醫療的新性 能の養毛美蟹料 書手料としてこれ以上のものなしとまで質問されて限ります。

掛井 札上 猛功夫 先先 生生

五地新波群區南市阪大

注射薬/

婦人用

の種八十三花名の界世

四銭切手貼付の封書にて二十年 神主意 空画の知 抽 蒶

七月上旬 六月三十日 1の事 (約五匁)毎に (約五匁)毎に

て洩れなく御買求めの方へ販賣店に倘右期間中オリデナル香水 儿五錢包

進星/

直接本舗宛御送り下されば賣店へお賴みになるか又は氏名を明記して最寄りの販氏の変のに住所 に名て様

本 東京 舗 會標 社式 安 藤 井

所究研學化藥原藤

市日本橋區水天宮前 筒 堂 景 g 部

部賞品發送濟ですに締切、五月五日嚴正抽に締切、五月五日嚴正抽前回の大懸賞は大好評裡



沈送増は不可避

新産金高では賄ひ得す

為替對策の矛盾

鮮の背後地

とちらが先に

は、昨日終末の一それが問題。 最高も同題であらう 土打込むか

重要問題

白に取られないから。と黒は先づ

ひ、その方の白

上の白丸三子

元に(い)と関しを配くことにしよう。誤五十九は

とは脳かしい。それで本日はそれ

しかし、その機関をとらへるこ 黒より戦端

巧みに逃れ の方か:戦端開始である

684 宏二百

外電 (世月)

日本語 第一(2002年15年9年20 0 2022年15年9年20 0 2022年15年20 2022年15年2022年15年20 2022年15年20 2022年15年2022年15年20 2022年15年20 2022年20 2022年20

**₽**₽

白五十八上り黒七十一まで

3

**覆面道人** 

圍はれたら

白色为

**目T-橋戸江區橋本日市京東** 

と配合し、絶好の機能である。 せんれい まかまでもなく駆は(ろ)なら、まかまでもなく駆は(ろ)をして駆出十二 て解取する成算があるだらうか。 らどうなるだららか かし、明日日に(い)と聞はれた 思は、白七十以下を、一郷にし

は取けだと、前着も心配するだら 七十以下を凌かれたら、それで悪い白に (い) と聞はれ、そして白に

御調有 | 表代日本 朝雪望 | 三 橋記 開報第 | 五 橋記



の人選に極し大強決定を見たので「館を聞き属は確認の確認能に同説」することで、次の事時に対しての表情を持ちます。 という 「東京電話」林門相は二十二日午「職器として、文教、思常前方面かった神のはこれは構想大臣との人選に極して、文教、思常前方面かった神のは、大田寺は大臣とすることをが改してが北京の通り、東京電話「林門相は二十二日午」職器として、文教、思常前方面かった神らなどに決定してある、文「東京電話」林門相は二十二日午「職器として、文教、思常前方面かった神らなどに決定してある、文「東京電話」林門相は二十二日午「職器として、文教、思常前方面かった神らなどに決定してある、文「東京電話」林門相は二十二日午「職器として、文教、思常前方面かった神らなどに決定してある。文

特別の支撑なき取り来る二十四日一精神作用に属する時間をなす響、

の定例語派に同事派が政府規程を 門議決足し同時に委員を任命する

個同語。源質要項は左の如くである が同歌議師は職権決定事項として一

一、委員は苦干名とし民間の學績 

こととなった。委員は民間學議館一般層、棚所に御酢調素睛の手載き一

廿四日の閣議に附議

僧良藤傾前令部及び教育部は賦予學生の南京網顧潔の南下に對し、

| 周京一十一日間間 北小東北大 南京政府武力彈壓 北平請願學生團を

文教審議會の

十一時東部國境二十一號界標路山

職五分の後蘇聯側一名は監視隊に 門園園園は監視兵に選見せられ交 財教され、法門議附近のお蘇聯領

【新京廿二日回盟】二十一日午前|前州姆間内に侵入して來たが、福 密山附近で越境

要項大體决る

政黨の存在は當然と思って関が膨法政治を基調とする

# の貿易後建川中将は語る株首相と建川中将は語る

選問は自分は從派の選挙 内西以外に何ものもない。

を質難に見たが、関家主義的政 を可難に見たが、関家主義的政 した解散、選取なら何回でも中 つてよいと思ふがそういふ質念 がなくて何度でも解放されると いふをはゆし優ではないか、勿 論この理想を達成するには容易 なら四番心と努力を思するが、 あくまで我優してやつて行かれ ばならぬ冒油等した、響理も厳 ばならぬ冒油等した。

武力弾馬を加へる手指を定めてる 地方長官會議

が、曜上献は日本秀安成は一行を「「神戸電話」の三大金単途時期たの郷然開車車の午盤標に出席した。 田芸様込み終るの郷大な出郷へを受け引席す外閣 一千八百餘萬国 一千八百餘萬国

ランシスコに向ふ復定である

【東京市話】 韓万迪行の男生政 駅を知せんがためには今後施設 駅を知せんがためには今後施設

且つ複雑だるものあり、荷も一度が新ぶその効を現はし、一般 を基せり、然れども農山漁村 の接着用の好得に行いや・緩和の 軽が用かけ得に行いや・緩和の

經濟性面部一行は二十一日朝ニュ

【ニュストン二十一日同盟】日本

平和に衝襲する所多大と信ずる。所知は衝の政解を深め、殊に世界

午前月港内第一英地野田の三井物 九間(百二十九個)は二十二日出 百七十一萬八千八百九十四四九十 そ五千五風の中第一回燈頭で手入

經濟使節一行 ヒユストン到着

代表して左の如く遠へた

農山漁村の

更生發展

地方長官會議に於る

神を作典し統治改 農山

山崎農相の訓示

信用光反射の一個兵一ヶ間及び降行多弦の配備を 完了して學生の情景人りを別止し

濟南で重要會見

中央の北支進出對策を協議

よって来るべき特別議論

獨伊は難色

英政府提案に

宋兩首腦が

**簡、六日間に買る的語を終了した。上近く買取することになり、配切** 三品質的合知事より質問あつて散、緩緩粉養質長素質が氏の的認は血。行は近日されてある

方を辿する税制整理、選舉法政方を辿する税制整理、周日報位向上、中央地球、周日報位向上、中央地球を計画、米恒制度、河川治

現下の傾所に照し極めて

たるが戦を行す、今後所業・更に不士沙分科委員幣は義勇兵撤

以上続きくは最近とは常しためる。 と再見等し、1年を はに不才続分料を投幣は変態支援。 並より開映 の氏変長利中間で変 と再見等し、1年を と本見を引きる。

は際は(一)停職は南沿車職盤の

牧に闘する報告出を展示したが委

決定に待つ外ないとして何知賞良

企道、調査問

したのに到しフランス政府は直に、を取げするも、新産

金額の範閣内 を講ずる方針

である。

ス酸所は外國最近にの版文を開提 立を得つて、かと

としてスペイン内気停戦家を提ぶ

新たに調査資を設けて之を附置研究を重ねて來りたるが、近く際型の施設たるに極み既に副査

問題は政府の方針が特別、確定と、電力問題、、選初教育年級延長

決定するを待ち、夫々制査

以て暖山漁村屋生と工業生産力村の労力を利用して收入を齎す村の労力を利用して收入を齎する。

企畫廳の方針決る

毎週火曜に全體會議を開いて 調査の結果を取纏

新聞記事の郷後を残じた、徐州に「孝事項は河に願し閣跡を重わた結「祗鼠紫の泉の泉で稼動を行ふべき」等象はを得ち、各名との屋に報題を開き、企一ので右閣別に提出されるべき各一で行くと我に各名文化郡はの創造を開き、企一ので右閣別に提出されるべき各一で行くと我に各名文化郡はの創造として弾彫するに決し、一十一日天「仁郎り劉定国会時野神を開き、企」ので右閣別に基ま各前が野び登し」に困き、調査の結果を釈文集選め、自己整備部や部及で収許単行版と、教育単行の表を指数させ、

内鮮產業一

貫的統制

拠地方における各級の

## 

# 陸軍召集規

東京に誘う生戦時間制になき降北ではずら、生能力

は豫備役に組入された翌年直もに召集、その後も紀年引 四二年目に召集を受け、一連二十歳に遂子るまで復輸役を必行機保証的を係録した整備役権权は後備役に入った む場所に於て二回教育を受けてみたのを今度の既正で 館が候補生川台將校及び下土官の教育を元費し、今ま 明白更素の整備暗光に懸命の努力を押つてみらが、之 飛行機操縦形板、同能出線、下土管の石場取首企製と石が専則の大敗正を行つた、敗正の要続は岸後倫技 つの大きな現れとして二十二月に軍者行所十二階を

一際經濟軍縮會議の

成功望みなり

歸米のデヴイス氏が

理に輜重長の第一権を長は今後敵命召録を受けたかった。二次では二十八日間の靱命を受けることに収められた。 が、是も今度は他長科と同じく九十日間の召録を受ける 时五十二世, 學者

は完璧を期せられる話である

四十歳以後初めて空座されることとしいか続いて五川召留される原門は、一門二十人 役中に二回召集とし、第一次の召集では三十五日間、第 は整備、後備を通じて征来。同であつたのを、他に整備

改正を行ふ 昨日省令第十一號を以て シト業の指定によりその暗緒についてがに同法に基くセメ めて記場、張明のは、マッチ、

腰軍務等の際行せる選手者級中級」である に生産が初まり内部茶煮雨に對外安、製砂等値に関節に於いて盛ん 特川を織つて問題を恐場する傾向 として二十二日年原軍が官を朝しか、魔工者では内地の工業組合とした二十二日年原軍が官を朝しか、魔工者では内地の工業組合のであった。このな一者」としてあると さって合理産業部門の一目的製造地に於ける工芸科合法或定理建の

鮮米運賃協定

| 改一時半度行為に除ぶの正式手段|| 急いであたが、この部院前揚げを|| 首石に付置、八月以降別年一月ま|| 【東京旅話】昭和前は二十二日午|| で各職僚者間にその後朝月徳定を|| 総質析に総可申請中である(歌近昭-14年 || 保険売削上げを対象にしたの|| り上鏡方引上げを対像し見て合戦 左の如く決定した、依つて引観き一で十五回)

近〜三省會議を開き

ーズガエルト大統領の特使デガ

日本社行出】「歌ロカルノ家、ドナウ・ロカルノ家 の報告により大統領は既る失望、

ル大統領に意見開陳

|響に開する英帝顕伊各国代表間の||就市隊務長官モーゲンソウ氏の如

謙 譯作

はれた戴冠式大觀艦式一スピツツヘッド沖に行

| 京前無線音波対象、同盟ロンドン支局線| リア・アンド・アルバート號【ロンドン東

イス氏に自領に担りコンドンに面 意思は容易に一会せず、同間心臓 きに短来機能は高の質単につきを の部では、明期に小り和他近年ににつき 経行機が多く実際を繋がしてみる 機能対象を 先った前であるか の部では、明期に小り和他近年にはつき は一大が東北・大震戦がかけるが ・ 中国記載への若護教を一先って関する。 は、東京市市 川麓に文大使は各方 一面は用の上大陸来月四、五日成果 事情の最後を言って認識外三者館 たりには言った大震戦に関してが、 対象する としては昨年の日交流が悪いだったが ・ である は、大震戦に対してある。 は、東京市・ 川麓に立て ・ である としては昨年の日交流が悪けざいた。 
立というと、 
の最近人がより、 
たいがデザイス代(中心成功の事人にしとの登記を開いた)、 
に成った 
の最近人等に成る 
の発覚してから、 
の発覚を 
の表に対した。 
の表に対して、 
の表に対した。 
の表に対した。 
の表に対した。 
の表に対した。 
の表に対した。 
の表に対した。 
の表に対した。 
の表に対して、 
の表に対した。 
の表に対した。 
の表に対した。 
の表に対した。 
の表に対した。 
の表に対した。 
の表に対した。 
の表に対した。 
の表に対した。 
の表に対して、 
の表に対して、 
の表に対した。 
の表に対した。 
の表に対した。 
のまに対した。 
のまに対した。 
のまに対した。 
のまに対した。 
のまに対した。 
のまに対した。 
のまに対して、 
のまに対した。 
のまに対した。 
のまに対した。 
のまに対した。 
のまに対した。 
のまに対した。 
のまに対した。 
のまに対した。 
のまに対して、 
のまに対した。 
のまに対した。 
のまに対した。 
のまに対した。 
のまに対し、 
のを述る 
のまに対し、 
の表に対し、 
のまに対し、 
のまに対し、 對支方針を決定

【東京出記】金県送は第三次分を の現送 新產金額以上 本年度は異例

新産金額を超過するといふことたが、之を以て明年度において 指的局は本年度内の金以送か事實 の範疇にとどめたき意向を表明し 後の成行は注目されてゐる、大蔵 されてある場所である、結成整相 含めて早くも同一億六千萬國に選 は騒動において現然部を販産金額 引続き第四次規数も除れなく

朝鮮に於ける工業組合法施行は内 するものとして独自される、なほ 関係動質に出塁具さに支那各地の動設筋支無腕神楽順政として日華 氏と師はこの物物を損を棄ねて、 で解銀開総成に直位した公森太郎 二十二年後三時九ノ内中央等に於 【東京支配数】中央動館開閉では 所感を聴く

盛館理に散館した の諸氏五十條名参加、加廉語数の雄、阿澤斯氏術、於岡正男雄、阿澤斯氏術、於岡正男

### 任芸商相が乗出す

いたが、任堂前科は庭に一歩を置一分様度に止めんとする方面である 側については、過酸の重要産業統一の策球であるが、右に勝しては先 高三割に對して商工省としては五 殷朝師何より要求し来つ下韓出御 もは慢性を行するものは到英船田 工業組合法の實施も要望

る内壁統制問題の全性傾向を小腹

硫一ので、この解決如何は今後に於け 

中央朝鮮協會 加藤總裁から 郎氏は四年前から師話」民政が副刊で

版地池の

器域の所感を導く質を開催、出席 題されて好きたい

特選 た外國作家と作品私の最も影響を受け

實話

源人

ッメハ・ルエシダ

見事な打

士篇傑作

★大監督を驚かした

★千弗札を拾つ

0

を彩る眞紅の豪華版

道定期試合は廿二日午後一時半か

**離上競技の開幕職第一回應信制裁 | 信の戦ひを有利に展開した、記載** 

棒高に朝鮮新記録の喜田君

来五〇(銀八〇二)

の標職である。日本國民の存 領神集法、これこそ一個同胞一 日本の節き、日空館の謝羯こそ、 日本の表象、日本の象徴、日素の

本國民の奈光である。 國旗への

棒高跳 ζ 朝鮮新記錄

國旗揭揚

餱

するところ、日童族の歌らざる

遞信對鐵道陸上戰

梁、道立路楽、流陰商楽、を参加 校 加口中学、宛校コートにおいて影行す

派、海隣商業、養正高曹の七枚 派・河南曹、第二高曹、定成四 派・河南曹、第二高曹、定成四 派・河南東、第二高曹、定成四

京城日報

社

1

水

普成専門が優

四曲に本所容易としては統一上大

が困難となってふるので印念には

12

うを御指足願ひますの性能を担じぬ様御注

米棉收穫訂正

六の網日第二章等神通學 李彪城リーグ戦は六月五

午後四時から、六日(日)

大邱繭市場

能、本此後還第十七回春度城中等學校逐漸聯盟主

で膨保者協議の結果決定

京城中等學校聯盟

天會第二次戰(午後一時)

庭球リーグ

六月五(土)六(日)兩日攀行

発展の 競ると ころ、

氏の活動するところ、日童族の歌

| 十秒2朝1 (28) 四分十秒3長 現在 (28) 4 内球星 (28) (28) | 東在 (28) 1 金融 (28) | 平八五 金融 (28) | 平 七五 金融 (28) | 平 五 金融 (

八米十一4山本(鐵)六十二種田(鐵)六米七二多解類屬

(左)刺選手(左)刺選手(左)刺選手

殿道2 (2121 59) 0人牌

「日日本の一」 一般排球

金属学 ノー四 (単本川

孤合朋始年後、昨▲審判北局

殊勳の兩君

城 であり、日本國民の握りかざす國 相関らず調すを見せた、鐵道の苦



らずして、精神の問題であり、 M 研の構造は形式の問題にあ

動の原動力である。國族こそわ の問題である。回路の振揚はち の飲料であり、光明であり、 動すし、力づけ、静りを感ぜ

象であつて、厳として犯すべから さるものである。國それかしに國

の観覧量化を関する所以であると

人學專門學校野球

上戦も、日帝族の如く崇高

けふのスポーツ

【東京電話】東京大學野ポリーグ 明大勝 対象に水力側数の第一回委員會は 人別と位金でに開端するため、「本 の担当する源梁を審議するため、「本 の担当する源梁を審議するため、「本 の上手を源梁を審議するため、「本 の上手を源梁を審議するため、「本 の上手を源梁を審議するため、「本

※日報配器リーグ第二大戦の航

近来にない自納職を展開した者の被補にあげられてゐるだ

、提出議案審議

質業庭球リーグ

◆宮城海里大寶 八月七、八日 ◆宮城海里大寶 八月七、八日 - 「月七、八日

北島南氏 北島南氏

鐡道局の上

大マニラ

**③武田發賣品** 

資批

ボツシュ・サービス・ 

福 尚、 莊 北 神 广、東 京 神 一 丰 暗 店

単行十一月完成質単が宝を直もにデイングは來る六月九日上棟式を資金町一丁目に新築中の朝鮮ビル 朝鮮ビル上様式

日観き解談高時間就は午後三時四 | 二三韓汀となり9項から新語師を 十五分から解談先攻、石井(麻) 関いさて山中、南水と安打して二 田代、趙本、河県(祭)四旦新陳、劉を改くして第々と得 田代、趙本、河県(祭)四旦新陳、劉を改くして第々と得 「新を取れた、仮館は四回」・免役係 で開始

四一二(抗武成 二—四(離離

鮮鐵遂に府廳を封ず

て開始されたが、第一次龍の戦闘場で大野政務総監の始聡武によつ

一日は廿二日午前九時から頭山城 第 21000 3

龍山野球塲で開始さる

000000

(是) 平井(國) 三木、佐田▲(是) 平井(國) 三木、佐田▲(是) 平井(國) 三十分▲三國打造(是) 平井(國) 三木、佐田▲(是) 平井(國) 三十分▲三國打造(是) 8461722354 一框架金山统小大坂 形山本

京城的弘智京城県州野城試合は廿

398452167 京原班本木永藤在内

0

醫專大勝





活かせ債券

◆保險證券活用 短券消除助品贷付 和

肓痛腹痛に 

**存體電 岡出張所** 

法人答記公告 新川蘇梨县(雙即)出在灣日數 新川蘇梨县(雙即)出在灣日數 共一五百九拾雲日排达三夕北田資 縣河鎮高灣、千八百九拾五國六拾 縣河鎮高灣、千八百九拾五國六拾 縣河鎮西,與四十八百九拾五國六拾

**蘇門所川出張所** 

翻雕茂朱出張所

法人公司社会上 意本金牌基合(建设)阿和拉亚 参月参销音目现在出行德国政会一 全国四十百人前。图儿指六线也 日晚至四十百人前。图儿指六线也

87-438(O)



可修进市阪大 店商衛兵長田武器 元 寶 姿 町本市京東 店商衛兵新西小醬

糖衣錠



苹

ちつとして貼つてゐました、二日經ち三日經ち

しました、その前を通る人々は、ボチの瞳がだ

つてゐる猫かゐました、猫は、ボチが來るとお

どろいて、背を丸くして、眼を怒いしてうなり

壁を立てくさわぎました

開催しくないんだよ

しかし、お家には、太郎や、みつ子のかはいが 後を蘇つて、太郎のお家までついて水ました について行かなかつたけれど、ボチは、二人の

と、太郎は、否へました、他の人には、めつた

つしやるだらら

、似せで行くのを見ました

ったのです。ボチは主人のゐない小台の前に、 その配目から、かりうどは、この村にあなくな には弾山やりました

いつて、値かばかりの在物を分けて、ボチ

はりました、この有様を見たボチは、こゝにゐ

ては思いと思つたのか、間もなく要を消してし と、太郎も、みつ子も、いつたけれど、始けま

75

けやらとしにかつたのです

『ボチは、さびしいので、きつと気が狂つたの

た冬の日と、ボナのことを思ひ出しながら美し

い小石や、長娘を拾つてゐたのであります

と、みつ子がいつても、ボチはその際に耳を腹

『ボチャ、あれ返むでないのよ

もにえず、ただ白く雌つてある彼ばかりでした 略い押を記て、吠えてゐました、そこには、何

> あちらの高い山には、まだ雪が促ってゐて、南 げるから、僕の家へ来たまへ、と掛いてね」

と、太郎か、いひました

「はんたらに、からしてゐるのを見るのは、か

と、いふものもあれば、 何かしらんもらへるが

> なつてしまつたのです て行きました。それぎり、ポテの割は見えなく ました。この時、大波が来て、ボテの體を接つ しく帰さつづけながら、波を目がけて走り出し へつれて行からとしましたが、ボチは一般はげ

れて、見や、総と打ちに行つたことを思ひ出し

寒い、寒い、冬が去つて、このさびもい村にも に励ったのは、太郎とみつ子であつたことはい 海の見える、后の上には、真赤な木瓜(ボケ) 春かやつて水だした ふまでもらりません あはれに思つたでせる。けれど、一番かはいさら

と、みつ子は、太郎に向つて、いひました に立つて、ボチのことを思い出しました を扱いたり、折つたりするでせる。町の子道は る日、太郎とみつ子は木瓜(ボケ)の花の晒く まる。 振角響が来て映くのに、かはいさうだ 『また、町から、子供が来て、この花の吹く木 愉快に歌

はんだろに思い子上

期をつれて行くことが出来にい、うまく話がつ

「ボチ、お明は強者で發してくれよ、私は、お

いって水のやらになりました

見ださん、ボチをつれて行って、お家のだにし

分むとみえて、尾を振りながら、だんし、傍へ

と、いひますと、ボチは、二人のやさしい心が

ない、今夜は、いつしよに伸よく夕飯を食べや

と、みつ子が、いいました てやりませうよ

「ああ、利口な犬たから、お任さんもいいとお

けば謎るが、それにしても、いつのことか分ら

は、どうすることも出来ない味が来ました

つてしまひました、この村にからしてゐたので けれど、かりらどの発しは、だん!一苦しくな かりうども大を可愛がつてゐました

ありました

「ボチ・おいで」

時々、お孫宗を覧して楽て、ポチにやることも

たので、どうしたのかと行つて見ると、ボテは

る雲のちらし、降る目のことでした。太郎とみ けれど、それは、空しい思みでありました、あ

つ子は確保の方に留つて、ボチの吹える繋がし

と、二人は、髄を見合つて、いひました

復は、遠方にある蝦夷を動つて行くより仕方が

なかつたのです

よく思質に役目を果したのであります。だから

の打ち落した鳥を喰はへて來るといふふうに、 も主人のお伊をして、即物も追へば、また主人

を見ると、

「かはいこうだね」

して、村の小學校へ通ひました、そして、ボテ

太郎と、妹のみつ子は、毎日いつしよに峠を越

らです

本人に、めぐり遊ぶこもしからうかと思つたか

てもなく歩いたのでした。もしゃ。なつかしい ました、そして、ボテは、この頃、同じ道をあ この季節になると、ボテは、よく主人につれら

と、いふ人もありました

といふ犬を倒つてゐました、ボチは、どこへで

シ

さびしい村に、一人のか りうどが住んでゐてポチ

バ

ポチと木瓜の

なったのです

歌ふとつかれますよ うだひませう、しかしか」近では、 第十四回歷页 ぬり繪言選者名

うだ、後、ことへ札を軽でと置からか、この木

いる子には、きれいな小石と、珍しい見談と上 瓜の花を取つてはいけない、もし、取らない、 わ、ボチもかはいさらだが、この木もかはいさ

子(理山小)▲舟屋宮山(石川小マサエ(京師小三年)▲鎌田英代▲松田連子(天田小三年)▲鎌田英代 洪川小二年

付セラレタシ

希望者へ履歴世及写真主急本院庶務課宛送

内解人ヲ不問急募ス

爾士華語平南道立不讓醫院

純棒製油

旺爾を設置し シンから安む 祖のな

▲富裕マサ子(南大小三年) 珍らしいお話 麺(天生小年) いなは

カナダー病院船の

解釈の設備された階伝統が漁航にたちが漁場に出かける時には十分 世で数ひを求められるこ年選でれ カナダの『施油祭に促出する漁門 れまで三百九十八人の応者 勝して行きます。この情況前に して行くのです、他の船から無 してゐすす、大抵網人は食事が 椿黒し

規則なのが個因です 汁液を採取 北アメリカ

八ガロンの汁が採れ、そい汁が砂 取られるのです、平均三本につき 以上の国際が制目を用けて汁液 に位しい時です、「仮生手四百四米 ンド州とでは今世の汁液を採るの ユーヨーク州とニューイング

断三封度を駆出します 漠の出水 メソポタミヤ

語

時間が生んだ単位のラデオ 時間が生んだ単位のラデオ 東京県高橋南原見村総倉に同〇二 東京県高橋南原見村総倉に同〇二

đ,

テグリス語に水質が沿してバグビ

安全に行けます、キャンプを扱れ

要務部のり特殊にお出していてはほは、筆人、クレコン、ナイフ、本班メルル、叛はさみ、罪後等十十五一回に改造し、このでの事情までに政策自殺等十十五一回に改造し、このでの事情が、ものないには多く添っては人をさんに背面と関

金剛山上の影異は金剛山の一部です、今年

學校·學年

スキナモノ

名前

住

所

合せて用燃をせわばうまくゆきまば、それと、受持ちを決めて力を り操くために聞いてゐます で側干といふ人々が駆跡をしつか れ、沙漠に大水が出ました。それ ッドの北上壁のあたりの瓜折か畑

山に置るのはとても苦しい、急な 古學者たちが物六千年前の楽しく サクカラで観光に性暴してみた者 アフリカ…古代の

出てからの器め様独になる事が登

協力一

致

かけておかればならねことがいろ でも、山に野るだは、ちゃんと心 (あります、山雪りは他の中に

忍耐する事

せん

しいですが、野に行きませう、山一人、配い屋でも助け合つて行けば、が山田りの上手な人です、音・柳一でした 山に登らには、友達見志が取ける」と山には覚れません、急がず、料一の解始の月日が十六ヤードの部屋 ても苦しい、けれども、うまずた まず、いつも同じ足どりで作くの ゆまず、ほつりしと行かればな りません、休んだり急いだりする をこれまで的話にとざしてあたの

つて作よくせわばうまくゆきませ

セホーイ ( )……山は郷 しいですね、暫に山に、災しい景 白を眺めにがら歩きまはるのは郷

仲よく野を步きませう

山は人生勉强

登りませう

《郎は、ボチをかわいさうに思つて、自分の家

この語をさいた村の人退は、どんなにかポチを といる感味です

キャンプを振るかずるやうにせね て、夕方は明るい内に家に誰るか その土地々々の地理や歴史や野族 りません 地理、歷史、時物

の花が吹いて、うす悲い風に吹かれてゐまする

面白い機器が出来ます、砂し出途なや繁々や日コロにもいろとしと すればとても国白いものが際山あ について勉強したいものですね、

関の三つが、総合時に作用するかがあるのは、此の披置、別条、数 らべといはれてるます。

協院に歩きやせら、明かに成でも

顕近十段で、築店にあります。 日本にトモサンは、一ヶ月分一

看護婦

人がゐました。その人たちは石る」 腱もいけません、朝は早く出設し ロをふまのやらにして歩いたとい 食べすぎぬやうにして下さい、回 水をやたらにのんではいけません ひます、それは歩く時に狂怒した 衛生、攝生 慢

開発を超んで卸配なさい。 も思はしくないと答ふ方は、共元 ろ治療はに手を盛くしたが、どう 長年の川、胃臓が悪く、 今までの胃は薬と違つて、胃と トモサンとども利品

数の有所固を、殺闘する作用があ 強して、穏々の修修をもたらす無 中に出してしまみといる、例つた な、其の際質中に影響して、 特長かあります。間は、腸内に激 勝の中にある有様物や腐敗、酵物

トモサンが修件の貨幣所に設地

回

旗は戸

毎に

京城

薬は北島

A MONANTALLY

林江昌は北島

築

店

間の精膜の腹偏を、丁度、銀光の やうに砂凝して治いし、 数なしてお 大型を調しい ではなる。 れます 位一第育發

腸







梅に

にスモ 松に鷹 カは動 ぬ處 バコ opolity EX **感**能

タ

871 銭五十億定りあに店務品駐化草億

か

◆松下無難線式會社

一等・百圓・一名

億日本

0)

愛

一聽機

北海進石景閣上川郡東地川村宇駿田上 原

實

有難き光榮と感激

萬道民に頒っ

の如き金知事の問題を認安し参ったが道では二十一日で思北管内状況を具さに言

金忠北知事謹話

豚疫が發生

坂州郡の豚

郡守と家主の反目

四、五年間もついく

羅南政道外幹線道路には六百ミリ

日午前九時中城新一十大立廻りを蔵ぜんとし居合せた

||日から関連の運びとなり治験の||うといよ恐惧込みである|

・ 工作に代表されてある。

「本語な行うこととなり最適期 から言に集手を記した。

「本語な行うこととなり最適の。

「本語な行う」

「本語な行う」

「本語な行う」

「本語な行う」

「本語な行う」

「本語な行う」

「本語な行う」

「本語なり、

「本語な行う」

「本語なり、

「本語な行う」

「本語なり、

「本語な行う」

「本語なり、

「本語など、

「本語など、

「本語など、

「本語など、

「本語なり、

「本語など、

# 芙蓉堂を修築し

### 本人と国家教育の政権、大金で「十三斤、欧良徳の政府・五十四一届、西波線を総に付て批判指導する。 お北は好成績 の認識に賃貸「数三千八百五」開設を役の乗事を履察この設督、 の認識に先達つてとしく、欧良の「江外、玉山、美江、東部、度山、 の認識に先達つてとしく、欧良の「江外、玉山、美江、東部、度山、 の認識に先達つてとしく、欧良の「江外、玉山、美江、東部、度山、 のお田梨の理解が深まり気器」 山崎距離後は二十一日から深る 災害で减

は日本純地を失い俗類に迷ふ。皆で質の風水肥により一朝にして 

年は豊年萬作

水はたつぷり天候も好調で

明朗な平北の農村

八十歳以上の人生の終局近くにな 似ろしく解析者も二十九組あり網へ組、 派五十歳以上六十 未前の

【清州】内壁一如は先づ内壁絶姫

工博物館建設

先づ古典美術千餘點陳列

**道殿標内の略「塊してがつもりした標帳館となず」は同様理工事完成大策取石底に線「䴘の地方は激躁像形態にも考える」(《海州】黄海一方、栗渡峰代祭の迎頭な声號を鬼「玉事に着手して、近崇称趣宮局で「殿瀬は地方参年の無気たらき川支」だ。 あた土木識、欧良鵬も先き健新館 栃を陳列すると共に製に並内金部 信期望したが、近年に於ける支配べく制戦中のは、同所に創借して まつてある一千熊蛇の貴重な古跡 → ばっぱ調支鑑にでも是非にと陳** 建築糖工事の専門技術者を開議で「美界標の郷土籍に陳列・空中原派」に造跡所が地た。朝鮮の夏泉からに构り、双葉三都出中であつた古。に取り古郷を基拠して新変命つた。當内事例は選集的群しつよるり締 嚴かに修祓式執行

五三人口 県岡五八、九三五 にもつて来いの好劉さで無罪地も五三、七一六、世第一八六、四 始されるが解水は水温豊富。 物計入、九九八人 (前半45人べ) 中元日をトップに確認地 3次。 制計入、九九八人 (前半45人べ) 中元日をトップに確認地 3次。 制門入、九九八人 (前半45人べ) 明 湯水をたへへて一度に今年の門下六、世第二、二六四人人口 男 湯水をたへへて一度に今年の門下六、世第二、二六四人人口 男 湯水をたへへ一度に今年の門下

定的記さなしと大農戦を押し、り即年十月旅游が観せし歴。実然の中境に埋の指揮さっまけれ、尚長を介し切望せるも無が美に終

2四十一萬七十五百四十四人とな 一組となっている

富川の

萬治氏ほか十二名

松初岩は個へ移断しての後一ケ あた、然気に縁近機動し、米た 日の某官更から借入方交渉あ 通料的人すべし」との 

**各種工場 ぜ競つて進出し** 

年末には

齊操業

**菲内皮 (去今五七三年間)** 時間を確他の中に飲次に加修 輪奥の楽館は常時の美術を誇つ

場場で朝鮮の古事に做ひ修蔵式を | 鎌中である(宮眞は改築を加へ練見したので廊よ二十日午後一時 | 究上の | 異彩たらしめんとして

いてゐる上に方々に砂挺を來し

る満浦鎭

一躍して六萬に大膨れ

副輪段十八米の新道路延旋に對し一今日では三十二百人の建役出動を

市街地整備に大童

ても異人で財体的に参加し流石等

見るといふ有様で見るからに関か

めてゐたか趣上出來上つたので近

事認可申請を行ふことになっ

度異算の時部に紅鷺二十二萬六千

客誘致 松島に避暑

桑を織る一方色々と遊問施設の完

通信網漁場の區分も整へ

【清津】市街地計報第一區(湘垣 | 工の製造であるが結局明年まで持一部脚は正に約束づけられたが、松

清津府七月に着工

ち越すものとみられてゐる

春川支廳の昇格

繁榮會長から陳情

物所に 當てがはれ 一ヶ年 爺に

世間出現は穀極事が所等に使 とけては昨春火災に焼け出され

大い「局の許可を但て軽緊役的一年で統一問題で折腸しく即等と出情少終に 借人すべからず』と言明したけを | 支給機単局に改設された、且下大の報告は同番配は移体さずにつき | のまゝ一般再類と共作甘二日上川 治木氏に報告あり、依然せる矢光、図紋やが影響にあつたつてあるが 人なれば鬼も角郡以外の緒が借人 近に對し『柏木俊楽は郡戦災の世 

日増加、中央銀工事等のため手建川署増員(永同)

川掛から立候補して着一方坡州別左の総金を行つたと

口三十萬を目標に

の質枚製物を手つて工事に取掛る

道配水管敷設

延長二萬米、廿餘萬圓を投じ

シネマと演劇

疽壊肺・スエリカ・核結頭喉 テモフオーゲンの治療成績が有馬博士により昨年四月開催の日本結核病學會總會に於て斯界に散る権威と移政に改多の確立、學士に依りて共の素質、日本語、以近でチェフォーゲンが結核治療醫學的、成果醫學的文は治驗報告等を論議せられ、翌四日JOAKに依りて全國に放送する。 「原理」のAKに依めの企業を強動」の財演型中本品に関しては質に治療の講演ありて約二時間半以上本品に扱って共の素質をの基本登録」の財演型中本品に関いる。以下チェフォーゲンが結核治療醫學上に如めるべし、以下チェフォーゲンが結核治療醫學上に如りの不可以表現と得らるべし。

Fに外用として密切めるを認めたりと報告のもなり、「第十五回日本結核関係自然性が発生している。日本日本のは、現在に本品を使用して對照項症患者二十五名に比し非常は、現在には、日本日のは重症患者のみを選び非二十三十年。

件们早到日利取 送 定打圖 兴 料 價圖解判 全学**国**京省等 大方五十餘岡 大方五十餘岡 十三十二號 東 大台數 東 大台數 東

〇赤坂正喜著改訂最新版

から千町作りて来 早代の繁皇が建つて十七線以上 が十三組、渡四十線以上四十線水道ので野地所長を の線地書も一組あり朝鮮人は依然 三組、第三十本線以上四十線水道ので野地所長を 早代の繁皇が建つて十七線以上 が十三組、渡四十線以上五十線木道のきましたが自 各二組、第四十線以上五十線木道

上祖、前十七歳未前の着も質に一

南か十三組もあり父、人生五十の

千八十六組を弾し第二十歳以上二一では前五十歳以上六十歳末前が六

三十五歳以上三十歳未削の適節

上三十五歳未満が百十一組、南

東京・十七日朝いとも 間に与ると内地人は面「十五郎」の「東」にの味かな人だ響がなくを変更を、計五十三百四十一组あったが年齢、地に与る。東」の味かな人だ響がよりながまままます。 耐五十三郎 一十三郎 合 理」の味かなんだ響があるが、一日本のに明なんでは、一十三郎 一合 理」にあると、明に与ると内地人は面「十五郎」の味が、これが、はていいては、

類生活に酸窓を覚え、または毎

のいづれかに鉄路があつて産

例九三二 鬮 折込雌三〇枚 總クロース製函入原業本

了 并来了 皮根 蘇縣 七十萬 皮根 蘇縣 七十萬

河亦明顕には欧正内務省令、異別を墨げ継呼の分には明確なるとというのとは明確なるというのとは明確なるというのというのではいいできない。

。新自動車試驗問答精解 上正曜に且つ原明に経答しあり、試験なり 

取新自動車講義

東京 大学 (1) 中央 (

武最新自動







チモフォーゲン配

射

盛りよう、Jaranam 権威 チモフオーゲンの権威 発達論 別数 鮎川武一郎博士創製 盛んなりし結核病學會

東京市日本路 株式會社 鳥居 商店

設立々一ヶ年で立退なので多少な。てこの十九日間后保険料を突破、 **ラベレ』との命であつたので建築 | 題信分撃局では開始四十九日にし ブを切つて目出度くゴールインし** 漁期迫る

居せしめ上然らざれば家温を移映

が住際氏をとわり郡職の駅はを住に何故が解答の者を住居せしむる 対象は郡の宿舎として駐頭したの

粉主任住宅へ住居するやり手配

北鮮の簡保

三百国の完成に選進してゐた元山、銭を極掛し、全鮮四分季局のトッ し、配保本年度新期間各二萬六千(除陸利二萬六千四百四十六回五十二元山)管下百五十局所を総轄は、蘇集代數二萬三千六百七十九代、 本年の割當を完了 全鮮四局のトップ

慶北沿岸の待機陣

一手販賣元

# なぜエビオス錠が効く

つて居られます。一實際に於て、玄米や半摘米 接又は間接に白米の缺陷から起るものだ。と言 るでせうが榮養學者たちは、その殆んどは『直も稀であると言はれます。その原因には種々あ 日本ほど胃腸の病氣に惱む人が多い國は世界で 胃腸が丈夫であつたと言はれて居ります。 を食べてゐた昔の人々は現代人よりも遙るかに

して正常に働らかなくなり、その結果、食慾が白米ばかりを常食しますと、胃腸の組織が弛緩 には脚氣症狀となつて現れるのです。 減り、便通が滑りがちとなり、浮腫を生じ、遂

### 米飯に併せてヴィタミンBを

去して食べるため、折り食べた白米が完全に利いてすが、精白してこの貴重な成分を故意に除 用されないて、消化障碍を惹き起し、延いて全 居り、この部にはその米粒を栄養化し血液化す 身の機能に悪い影響を與へることゝなるのです るに必要なヴィタミンBが適當に含まれてゐる われくか食べるお米には胚芽と様が附着して

> 除く方法はないだらうか――と言ふ問題についそれでは、白米を食べながら、これ等の時母を と、効果が現はれて來るのは、これを實際に證場合に、麥酒酵母の製剤エピオス錠を服用する 現に我々が胃腸の工合が悪くなつたいろくへの に解決し得ることが發見されました。 明して居るものであります。 て種々研究された結果、それは麥酒酵母で簡單

第二に食物の消化が良く且つ早くなり、第三に 便通が滯らず規則正しくなつてまいります。 なり食べ物に對する飢餓感が湧き起つてきます 素の協同作用により…第一に食慾の狀態が良く

### 消化劑や下劑と違ふところ

作用を顕滑ならしめます。……從つて不消化残下劑の力を借りることなく、自然にこの二つの 實際、この食慾と便通とは胃腸の弱い方の二大 問題であります。……がエビオス錠は消化剤や

以上の理由で納得されることと思ひます。

エビオス錠が、たいへん好評を得て居ることは

な狀態にヴィタミンB複合體が一ばん効果的で胃腸障碍の多くが白米食の結果であり、かやう

を刺載して頭が重くなつたり、気分が響いだり でが勝内に長く停滯致しませんから、それが職 なかつたり 安眠が出來なくなり、筋肉が痛み、疲れが除れ て生じたこの毒素が血液中に移行すると、神経 酵腐敗して血液を混濁させないわけです。腸内 が語

ヴィタミンBがなぜ多い

屑が磁鐵に吸着するやうに……悉く生積します せず主変を使用し、これを酸酵させると、穀皮 大変を使用いたします。これは米のやうに特合でか?――ご承知の通り、麥酒輸造には巨万石のか?―― 厚なヴィタミンB複合體の集種體と言はれます。かくして出來に酵母は凡ゆる自然物中で最も濃かくして出來に酵母は凡ゆる自然物中で最も濃か のヴィタミンBは自然に酵母細胞に一 や胚芽から遊離してこの液中に溶けてゐる多量 ては、なぜヱピオス錠にはヴィタミンBが多い



謝する意味で一去る五月十五 様に限り、明治座觀劇券を差 上げてをります…詳細は附近 千錠)お買上の方先着二千名 日よりエビオス (三百錠又は 平素、ヱビオスのご愛用を感

薬店にご紹介下さい。

明治座にご招待

橘馬

谷農學博士監製越樂學博士創製

信書問題の答辯を回避

明月東深軒取、数判長期取問の事。明月東深軒取、数判長期取問の上背面の

と叩きつけるやらに配じて退せ、

許可を求められたことが一世の手紙で役について検一

と観込否へないので起物を同行政な答べしたいのです

について合語する。と体配を見す

の監をよく永知ありたい - 町十原四十五大衛は、かくて中 起門長 知つてあるなら率直に申のは軍大なる事項であるからと、職は眞背に魅ってみた、かくて中 起門長 知つてあるなら率直に申の政策判算なる後下を映向した。職は眞背に魅ってみた、かくて中 起門長 知つてあるなら率直に申の政策判集がる後下を映向した。

日回記』フランス島 東京へ向ふ

衣類、真様の推輸・構製の終しと、ので不制に駆び本町署へ能語で賦しき組む合戦を戦つて認び込み、、れ行の衣類入験を入資せんとする。要すみまんでもが風風へ行つた留、内質間に二十七八歳候の彫単が遺歴すみまんで、

時ごろ東四軒町三八の丘の上にあ、演じ本町署に掛け出た、一方二十一

風雨のあるテバートの孤身女の部。約四百回を縮み去つたのを提なく一

**獨身女の留守を荒す** 

一廿二月午後七 きみさんが除つて意見、大騒ぎを

殺氣法廷に漲る

と果して容疑问题に出る と果して容疑问题に出る を担むことが出来ると思ふか なっている語人は批社用機能に 裁判長 跟人は利事深近生上部言 を担むことが出来ると思ふか なことにお取引の類がたい。 を担むことが出来ると思ふか なことにお取引の類がたい。 を担むことが出来ると思ふか なことにお取引の類がたい。 を担むことが出来ると思ふか なことにお取引の類が表す。 を担むことが出来ると思ふか なことにお取引の類がたい。 を知り、出来るか出来ないの裁判長

東北政判長整をあら、 被判長・裁判長は許されのと信ず

際姓したが、この決定に先立ち南一長老今村脈医士はも枇杷田検事に

は御解幕に委せる』といふので駆と詰めよるが枇杷田椒事はコそれ

を表現を表現的は後の一系由 に東京の記り注目されてある。 原内

三つ巴の論爭展開裁判長、辯護人と檢事

した空氣の様に次回映職となって

も減しい診野が膨開された、 に旅渡人と枇杷田樹帯との間に交れが新らしい問題となり郷報長館

角型人退姓の後、枇杷田楠事は突一向ひ

松紀田 それは各へられない

マテ 十五分出述への職権を事業的政章 た、同点は約:週間点域に並在してか、 配職、 審由に著述。 午後四時 類 知氏 大人から美しい 心里を受けの根 死二回移土 前膝飛行の追いっき 遠 如道氏 大人から美し いん里を受ける 日午 前上時大阪木中川 修行襲撃。 講文、赤木心学館 長り 離解戦や幼

十五分出逃への腹航空事業性代奉一

単方撮解の瓦斯田式区と二個機と

る一等角屋主張管景(三点注中)

半島川村屋の大先殿であり棚市の一式には一覧である、五尺六寸堂を

た。過過の盟衛におきば直に地

空の漫步京城で一服

質構造士がハンドルをとり京武機中島式・人場十二人組成客機は加

戦闘の歌樹を終って休む間もなく一

郷土訪問の

張機飛來

航空ニッポン特別の「空の部に急」

巨體一ばいに純國産の誇り

一時廿四分、維國産の織りを巨大(六月一日)を前に、廿二日午後

### の安全地 急行便にひらく電波の道 内台室路に次ぐ施設

**北京天津線、即も京城から海のコースを通つて大連に出で** 東京街京間の「空の超特急」質励の一月一日から関節する 文天律への退迪公司総と結ず京城大連間の『急行便』に いま内観連絡で好成器を取げてある「全の安全地帯」

晴の使命を荷ふ 彼の道をはつれてもすぐ探し出してもとのコースにもど彼の道をはつれてもすぐ探し出してもとので粉や刺、雪、変の多いときなどは全くの質目飛行とためで物や刺、雪、変の多いときなどは全くの質目飛行とためで物や刺、雪、変の多いときなどは全くの質目飛行とためで物と対していません。

や特急機お目見得

きのふ京城飛行塲に着陸

黄旗のやうに常に天候異戯の多い孤上でもピーコンの宗子



シューン機(二百二十馬力)を撮「英里征空の肚途に上つた 日午町六時六分(日本 ミゲレッティ側氏は天 時刻午後二時六分)バリ郊外ルブ ルージエ飛行場出版、東京に向け 旨を申出て脈関長以下を恐激さ 町の元町小學校六年生西村久伊君

> ぶ 本 弘 主服のわらび、鈴山部りに、そして人氣を呼止なてハイキングに、釣に 開、ヤマメとりの販やかな

仁川電話」初望の高風郷、午仁川観測所の語

夜は小雨が來るか

家に墜落 死傷者七名を出す 大阪中心街の慘禍

濱松の重爆機

影を運通、鳳巣螺の手前短一杯的「側目賑かに行はれるが、隅日とも天行急行『のぞみ』が京義観技闘「祝經士書の容楽祭園は甘四、五の

ズンの皮切だ、サテ領が

賣家 福州西城

雕兰防殿 ——二十

かなりの姿がに供点側の海かなりの姿がに供点側の海 の手動を観って水ってある。ちから関やかな井空は 便存ない。しかし属もなくなした行業には返すれるであらう。ソレカレ属もなくなしたで暮くなくなくなった。

時間立往生し開城から教芸協制は 脱線、危く顕起はまぬかれたが一 してあった石に機関心が乗り上げ近に古しかくつた際レールに退職

手能りを発納する

午後七時から九時まで境内に取け

京城南大門通り四ノナナ

にふんたんに物速い場音を立てそ

果京天津級の交叉する国要飛行場

16 19 第十二年四月十 らしく等よしいに成所に谷底した哲寺と原境権行動を領領ですね」と 域を設つて東京に同時では一部制・財政国のこの確単版で飛んで求る 現出した、同時に十三日朝・財政国のこの確単版で飛んで求る 現出した、同時に十三日朝・財政国のこの確単版で飛んで求る。 に差かくつたところ突州エンデン 光正一外四名はそれ(一治塚一週 歴史は帰傷を買い他は何れる無

が順度技に手の切れたやうな百種るか 師問長を訪れた一小単生のあつた 十九日午後須井龍願司令部に川岸 國防費に献金 亡父の香質を 健氣な小學生

勉強してみたが、法る三月十五 ことによし、 ここには 世境院で 自分は將来軍人になるつもりで しい中位を起し即成事上 行議院で

機關車脫線

解験業舎所鑑力の抱へ 京成西四州町始近プローカー河浪 を過失数死で取職べ中

し生兵法

物以上版は情を明かして彼女に實

限き取調べ中であるが萬引した品 門際商業の英引撃生は本町署で引

電話品級

**父兄を召喚** 故買學生の

四

段川

市

構成するので傾血等風した結果故

質器生の召喚取調べは一鵬的習し

恩

の出訳を求め事情を臨取した

河豚で死亡

二名は重態

注射で娼妓を殺す

言行って來て食べたところ家族四 環大興町山一分凾者征順西方で

日午後三時ごろ原江から河豚

が同夜八時ごろ苦悶を始め別別

女事 形以条形。中期人间既

= 妹光法("5)は間もなく死亡

新町稻荷の春祭原城

思りでも決行、なほこの能 本社主催、三時ワラビ狩り 「応よる二十二日行はれる しに領域の高めに仁地及び 三防行

中 入用 年齢甘蔵明徒

姓革名

京城府新堂町三九七地人本人来談

メンソレターよ
各三百倍
間

反成場談町五一李文順さん(こ)が 評判の美人服毒

彼女は附近で都物の美人で領立て あるが生命は幸ひ取止める模様、 て耳臓町三共病院に遡び手会してで苦悶してあるのを家人が健慰し 廿二日夜八時半頃竹は四葉をの

時のが全人 偵探立私 音 簡 智 結

手 製造家募集 軍ツギノ5軍手

会と催じ

私といふのは貴方のことではなる。

藏 百 八 川 市・郎 十 源 村 澤・郎

お早い方がよいお場際が取れます(三時席も即興)

各等共前賣券

發賣中

常日でもよいお填席の用意あり

本町二丁目前競事務所は

E-09462 CO-38175 Id \*\* 2-24 In 69406 In 84,350 In 194666 A7511 86

サッポロビヤホー

午後正四時開幕 於府



屋 儬 佐 劇 吉 料

经组的图

















































11















太勝東坂・郎太成村中・郎







受験を活 (11・14・1)

羅 勢 道中膝栗毛 九 景治中選長上頭和金

第四

サ八新 間 進 帳 1 日本側界に開始を削せる騒之肌の傾逐

段明析層佐吉

那三

小ない心中二つ駕

Ħ

質がのみとり男っ

長帆杵鼠佐吉

外趾中 出演

杵嚴佐吉作曲

供提任资社會行興丰富

**毛剃九郎看術** 

盛越市原

(四 (1)田•川田•岡田七属)

第一回狂

碇

知

ħ B 間 限

二十二日 午前十時半より十一時半まで京城中東部結局で脚門・一十二日 午前十時半より十一時半まで京城中東部結局で脚

**企煙草菜會社** 

電話局と鹽田の寫眞

論寫眞撮影會

見し締朱安静に二時二十分着、原田事業の以真を解除の上午後五 即日成戦盟 ◆後援副督府及び本批——多數参加歌迎

分割で超級人懸い金融加三千四条人論切六月中人主脳金哥

けふの日曜は

襟 京回窯页

雲の行樂日和

